

檀原学院高等学校
教諭：照山 淳也

日時：令和5年9月16日（土）～10月14日（土）

対象：2年4組（美術科、17名）

場所：美術科棟 1階 第2実習室

1. 題材名 「鉛筆デッサン：薪、レンガ、ガラス、鎖を描く」

2. 題材観

本校美術科での素描は、1年生2学期まで木炭デッサンをし、3学期から鉛筆デッサンをするカリキュラムで授業を進めている。本格的に鉛筆デッサンに取り組んで5枚目の作品になり、ようやく鉛筆の使い方に慣れてきたところである。今回は質感の違いが視覚的にもはっきりとわかるモチーフを組み合わせることで、モチーフをよく観察し、モチーフの特徴をしっかりと捉えながら根気よく表現していくことを意識させる。鉛筆の色の塗り方や線の引き方を工夫し、薪の樹皮やささくれや鎖の光沢など、細かな描写が質感表現につながることを理解させる。またモチーフを組む時に、薪をレンガに乗せて床から浮いた空間をつくる、モチーフが重なって見える部分をつくる、など空間を意識した配置をさせることで、モチーフ全体の空間を把握し表現する力を育成する。

3. 題材の目標及び評価規準

- (1)・モチーフの構造の捉え方や透視図法など、基本的な形の捉え方を理解する（理解している。）全体を大きく見て、モチーフの関係性や空間を捉える。（捉えている。）【知】
・形や質感に合わせて、鉛筆の使い方、タッチの入れ方や塗り方などの表現方法を工夫し、創造的に表す。（表している。）【技】
- (2)・バランスの良い構図の入れ方を考え、色や形、質感などモチーフを深く観察し、美しさや面白さなど感じ取ったことを創意工夫して表現する。（表現している。）【発】
・構図や表現の良さ、美しさを感じ取り、モチーフに対する観察力や表現の工夫などについて考え、自分の見方や感じ方を深める。（深めている。）【鑑】
- (3)・モチーフから感じ取った美しさや面白さを基に、表現を工夫しながら制作活動をし、主体的に取り組む。（取り組もうとしている。）【表】
・表現の良さや美しさを感じ取り、作者の表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めるとともに自分の表現を振り返るなど、鑑賞の活動に主体的に取り組む。（取り組もうとしている。）【鑑】

5. 準備物

生徒：鉛筆、消しゴム、練りゴム、カルトン、クリップ

教師：モチーフ（薪、レンガ、ガラス、鎖）、画用紙、イーゼル、はかり棒

6. 指導と評価の計画（5回10時間）

学習のねらい・学習活動	知・技	思	態	評価方法・留意点など
<p>1. 導入・モチーフ組み（0.5時間） 制作（1.5時間）</p> <p>●与えられたモチーフから、今回の課題のテーマを理解する。</p> <p>●モチーフの組み方を考える。 ・4人1組のグループでテーブルにモチーフを組む。グループでコミュニケーションを取りながら、それぞれがバランスよく描けるモチーフの配置を考える。</p> <p>●構図を決める。 ・モチーフ全体の比率を測り、アタリをとりながらモチーフの入れ方、画面上のバランスを考える。</p> <p>●形を捉える。 ・レンガやガラスなど、モチーフの基本的な形や構造を正確にとらえる。鎖はパーツ1つ1つの形を捉えながら、全体の流れを大切にする。</p>	<p>知</p> <p>↓</p> <p>知</p> <p>↓</p> <p>知</p>	<p>発</p> <p>↓</p> <p>鑑</p> <p>↓</p> <p>発</p> <p>↓</p> <p>鑑</p>	<p>鑑表</p> <p>↓</p> <p>鑑表</p> <p>↓</p> <p>鑑表</p>	<p>・今回の組みモチーフの意図を伝える。モチーフをよく観察し、質感と空間の表現を考えさせる。</p> <p>・モチーフ組みの時、空間表現を意識させるために、薪の片方の端をレンガに乗せて床から浮いた空間を作り、鎖は薪の上をまたぐ様に乗せるように指示する。</p> <p>・モチーフを組む時に、自分の意見を伝え相手の意見を聞き、それぞれがバランスよく描くことが出来るように考えさせる。その時に、レンガであれば3つの角、鎖や薪であれば両端、ガラスであれば底が少しでも見えるように、形の終わりが見えるように、組み方や自分が描く位置・目線の高さなどを工夫させる。</p> <p>・画面全体を使い、良い構図、バランスになるようにモチーフの入れ方を考えさせる。描き出した後でもバランスの悪い組み方であれば、グループ内で相談しながらモチーフの配置を調整させる。モチーフの位置関係を水平垂直で確認しながら描き進めさせる。</p> <p>・レンガは直方体のパース、ガラスは円柱の形の捉え方（楕円の見え方の変化や左右対称であること）を確認させる。鎖は、描いた1つ1つのパーツが同じ大きさに見えるように注意させる。</p> <p>・始めは柔らかい鉛筆を使い、紙を傷つけないように描き進めさせる。</p> <p>【活動の様子、制作中の作品、ワークシート】</p>